

令和7年度 後期 ビジネス・キャリア検定試験

ロジスティクス分野
BASIC級 ロジスティクス

試験問題

(7ページ)

1. 試験時間 60分

2. 注意事項

- (1) 試験問題は、係員の指示があるまで開かないでください。
- (2) 表紙に記載されている試験区分名が、申請している試験区分名と同じか確認してください。申請している試験区分と異なる試験区分を受験した場合は採点できず、不合格となりますので、ご注意ください。なお、試験開始後に申し出られても、試験時間の延長はできません。
- (3) 試験問題は、70題あります。
- (4) 試験問題の配点及び合格基準は、次のとおりです。
(配点) 問題1～問題70 各1点 合計70点
(合格基準) 試験全体として概ね70%以上の正答。
- (5) 関係法令、会計基準、JIS等の各種規格等に基づく出題については、問題文中に断りがある場合を除き、令和7年11月1日時点で施行されている内容に基づくものとします。
- (6) マークシートにマークする際には、HB又はBの黒鉛筆で、はっきりとマークしてください。それ以外は使用しないでください。なお、訂正する場合は、採点の際にマークシートの誤読の原因となることがありますので、きれいに消してください。
- (7) 計算等が必要な場合は、問題用紙の余白又は裏面を使用してください。
- (8) 解答の方法(真偽法)は次のとおりです。
ア. 1つ1つの問題の内容が正しいか、誤っているかを判断して解答してください。
イ. マークシートには正・誤をマークする欄があります。問題番号及び問題文に従って正しいと思う場合には正の欄に、誤っていると思う場合には誤の欄にマークしてください。
- (9) 試験問題の内容に関する質問には、一切お答えできません。
- (10) 試験中にトイレへ行きたくなった場合は、黙って手を挙げて係員の指示に従ってください。
- (11) 試験終了時刻前に解答が済み、退出する場合は、黙って手を挙げて係員の指示に従ってください。ただし、試験開始後30分間及び終了前10分間は、退出できません。なお、退出する場合は、周りの受験者に配慮して、静かに退出してください。
- (12) 試験終了の合図があったら速やかに筆記用具を置き、係員の指示に従ってください。
- (13) 試験終了後、マークシートを必ず提出してください。ただし、試験問題は、持ち帰ることができます。なお、マークシートが提出されていない場合は、失格となります。
- (14) カンニング行為(他の受験者の答案等を見ること・他の受験者に答えを教えること・他者から答えを教わること・指定されたもの以外のものを机の上に置くこと等)、替え玉受験、不正行為と疑われるような紛らわしい態度をとる行為、他の受験者の迷惑となる行為、係員の指示に従わない場合などは、不正行為とみなされます。不正行為とみなされた場合は、直ちに退場となり、当該期に受験する試験区分のすべてが失格となります。
- (15) 試験問題の転載、複製などを固く禁じます。

- 問題1 ロジスティクスのインフラには、道路、港湾などが含まれる。
- 問題2 流通加工には、入荷した商品の包装の変更や商品の組合せ等が含まれる。
- 問題3 返品、回収、廃棄に伴う物流のことを、グリーンロジスティクスという。
- 問題4 ロジスティクス部門は、企業内の生産部門、マーケティング・営業部門、情報システム部門などの他部門と連携することにより円滑に業務を遂行することができる。
- 問題5 メーカーが自らの原材料・部品の在庫を削減するために、調達先に過剰な多頻度納品を要求すると、納品コスト上昇につながる可能性がある。
- 問題6 量販店の物流システムは、仕入れ先から店舗に直接配送する方式が主流である。
- 問題7 特別積合せ貨物運送は、特定の荷主と契約し、当該荷主の貨物を定期的に輸送する方式である。
- 問題8 輸送とは、生産者あるいは供給者と需要者間の時間の隔たりを克服するための活動である。
- 問題9 トラック輸送における自家輸送と営業輸送の輸送トンキロベースの割合を見ると、自家輸送の方が高い。
- 問題10 鉄道貨物輸送には車扱輸送とコンテナ輸送があり、輸送トン数で見ると車扱輸送の割合が高い。
- 問題11 フェリーでは、ランプウェイを用いてトラックやトレーラーが船内までそのまま乗り込むことができる。
- 問題12 軽自動車（総排気量660cc以下）や二輪の自動車（総排気量125cc超）を使用して貨物運送を行う事業を、貨物軽自動車運送事業という。

問題13 航空輸送は、長距離でも近距離でも、常にトラックより早く貨物を届けることができる。

問題14 ノンアセット型 3 P L（サードパーティ・ロジスティクス）事業者は、第二種貨物利用運送事業に該当する。

問題15 内航海運では、鉄鋼、石油、セメントなどの産業素材輸送が多い。

問題16 自社で運航する航空機を所有し、集配から通関までのドア・ツー・ドア輸送サービスを一貫して行う事業者を、インテグレーターという。

問題17 トラック輸送の長所の一つとして、ドア・ツー・ドアの一貫輸送サービスが可能な点が挙げられる。

問題18 航空貨物輸送には、ベリヤー輸送とフレーター輸送がある。

問題19 トラック輸送における距離当たりの実車率とは、1 運行で走行した総距離に対して貨物を積んで走行した距離の比率をいう。

問題20 京浜港・阪神港は、国際バルク戦略港湾に指定されている。

問題21 保管とは、モノを一定の場所において、品質・数量の保持など適正な管理の下で保存することである。

問題22 営業倉庫の普通倉庫に危険品倉庫は含まれない。

問題23 建築基準法によれば、営業倉庫と自家倉庫で、建築できる用途地域は同じである。

問題24 倉庫管理主任者は、国土交通大臣の定める倉庫の管理に関する講習を修了した者から選任しなければならない。

問題25 コンテナ等を用いたレンタル収納スペース事業は、倉庫業法のトランクルームに含まれる。

問題26 営業倉庫の事業者は、国土交通大臣の許可を受けなければならない。

問題27 3PL（サードパーティ・ロジスティクス）とは、荷主企業に代わって効率的な物流戦略の企画立案や物流システムの構築の提案を行い、かつ、それを包括的に受託し、実行することである。

問題28 親会社にとって物流子会社のメリットの一つには、物流関係費用や管理責任の明確化がある。

問題29 1回当たりの輸送量を多くして、輸送回数を減らすと在庫量が増えるように、一方が減少すると他方が増加する関係を、トレードオフという。

問題30 物流ネットワークとは、輸送の発地と着地を結ぶ輸送機関のことである。

問題31 商流ネットワークとは、企業間での商取引流通のネットワークのことである。

問題32 TC（トランスファー・センター）とは、入荷した貨物の納品日が確定するまでの期間は在庫され、後日に出荷される物流拠点である。

問題33 納品箱に貼られたSCMラベルのバーコードをスキャナで読み取り、納品元から伝送されたASNの納品明細データと照合すると、開梱せずに検品できる。

問題34 入庫とは、倉庫のバースに荷卸した貨物を受領することである。

問題35 出荷検品のリスト検品では、納品書や出荷検品リスト等と現物の突合を行う。

問題36 オーダー別ピッキング（摘み取り方式）とは、品目毎に商品の総数をまとめてピッキングしてから、オーダー別に仕分ける方式である。

問題37 出荷伝票やピッキングリストに基づいてピッキングする方法を、リストピッキングという。

問題38 冷蔵庫の個装は、外装ではない。

問題39 次の荷扱い図記号（通称：ケアマーク）は、「壊れもの」を示している。

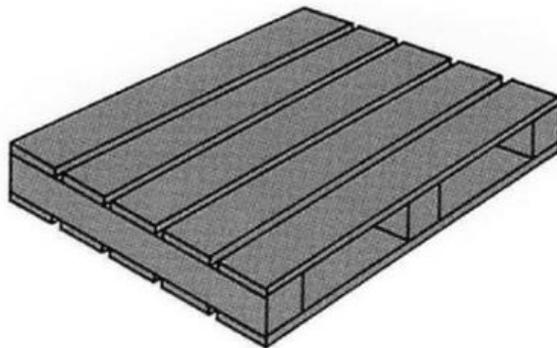


問題40 ユニットロードシステムの特徴として、バラ積み比べてトラック等への積載率が高くなることが挙げられる。

問題41 包装モジュールとは、体系化された輸送包装サイズを得るための基準となる数値のことである。

問題42 平パレットのデッキボードの両端に位置する板を、エッジボードという。

問題43 下図は、四方差しパレットである。



問題44 紙袋包装の貨物は、何段も積むと、荷崩れを起こしやすい。

問題45 鉄道コンテナ内への貨物の積み込み作業は、一般的に最寄りのJR貨物コンテナ取扱い駅で行われる。

問題46 JR貨物が保有するコンテナは、12ftコンテナより31ftコンテナの方が多い。

問題47 マテハン（MH）とは、何らかの物を何らかの方法で取り上げたり、移動したり、置いたりすることによって、経済性や生産性及び品質を向上させる手法である。

問題48 荷役とは、物資の積卸し、運搬、積付けなどの作業をいい、ピッキングは含まれない。

問題49 カウンタバランスフォークリフトは、リーチフォークリフトと比較して旋回半径が小さい。

問題50 垂直搬送機は、人が乗ることも許されている。

問題51 下図は、ネスティングラックである。



問題52 立体自動倉庫は、ラック、スタッカクレーン及び入出庫ステーションで構成されている。

問題53 卸売業の場合、入出荷データは、在庫過不足の分析にも活用できる。

問題54 在庫回転率は、「在庫保有量÷1日当たりの平均出荷量」で求められる。

問題55 配車担当者になるには、運行管理者の資格取得が必須条件となる。

問題56 トラック運送に従事する者であれば、誰でも事業者の指名で運行管理者に選任できる。

問題57 輸配送計画は、到着地の行政区域を優先して作成しなければならない。

問題58 物流サービスは、物流事業者にとっては商品である。

問題59 物流サービスには、注文時における納入予定日の回答は含まれない。

問題60 物流サービス水準（レベル）とは、リードタイムの長短やロット数の大小などをいう。

問題61 J A Nコードは日本固有の呼び名であり、国際的にはG T I Nと呼ばれている。

問題62 下図のバーコードは、G S 1-128である。



問題63 受けた注文を登録するオーダーエントリーには、人が画面・キーボード等からコンピューターへ直接入力する方法もある。

問題64 商品の入荷が遅れていて在庫未引当になっているオーダーは、商品がないため、オーダー管理の対象にはならない。

問題65 発注処理にE O S（Electronic Ordering System）を活用することで、発注作業が省力化・迅速化・正確化する。

問題66 コンビニエンスストアなどで発注に用いるG O T（Graphic Order Terminal）には、一般に、個々の商品の過去の販売量、推奨発注量などが表示される。

問題67 W M S（倉庫管理システム）には、輸送管理の機能も含まれる。

問題68 L M S（作業管理システム）における作業計画支援には、当日の作業者の配置計画と翌日以降の作業者の確保計画がある。

問題69 輸配送管理システムは、配送・配車計画、運行管理、貨物追跡などで構成されている。

問題70 トラック輸送における運行管理システムの導入目的には、顧客サービス向上、コスト削減、ドライバーの負担軽減、労務管理の徹底がある。